

# はたちの主張 ※一部を抜粋して掲載しています



この20年で、私は今考えられる自分らしさとは「人情を持ち、ただ真っ直ぐに生きること」であると考えました。  
「本当に伝えたい想いだけはうまく伝わらないようにできてた」という言い伝えが世の中にはあります。だからこそ、私は感謝だけでなく、自分の意見を言えるような自分らしい芯をもった生き方を貫こうと思います。

時代や人々の価値観が変容されていく中でも「自分はなにか」を考え、アイデンティティを確立し「自分らしく」生きていくことを大切にしたいです。  
美浦中学校で培った「当たり前なことをばかにしないでちゃんとやる」精神を持ちつつ、誰かを支えることができるような社会人になれるよう、自分らしく精進していきたいと思います。



教育は変化の力を持ち、私がなろうとしている教員はその変化の方向を促し変化を促進させる存在です。教員になった際には、児童や生徒の可能性を開花させ、子供たちの良き道しるべとなっていきたいです。  
『教育』という、未来の社会を担っていく児童・生徒を育てることを通して社会に貢献していきます。



# 令和6年 美浦村はたちのつどい

希望あふれる

「はたちの門出」

令和6年1月7日、中央公民館において、令和6年美浦村はたちのつどいが行われ、今年度二十歳を迎えた175名のうち、123名（男性62名、女性61名）が出席しました。新たな門出を祝福するように天候にも恵まれ、会場には希望に満ちた爽やかな笑顔が溢れていました。  
式典では、同級生との思い出をまとめたビデオ上映が行われ、懐かしさで喜びの声が上がりました。また、代表3名の方による「はたちの主張」では、二十歳になった決意や将来への夢、お世話になった方々への感謝が発表され、参列した保護者をはじめ、参加者より盛大な拍手が送られました。  
二十歳の皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、今後のご活躍を期待しています。



## 参加者代表謝辞

いしい かえ さん  
石井 花恵 さん

私たちは20年間多くの方々の支えがあったからこそ、本日無事にはたちのつどいを迎えることが出来ました。  
時にはぶつかり合いながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のご指導くださった先生方、いつも近くで見守ってくださった地域の方々、そしてたくさんの愛情をそそいでくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、私たちは「二十歳」という大きな節目を迎え、晴れて大人の仲間入りをするのですが、すでに職業に従事している者、学業に励んでいる者や、まだ将来の夢を迷っている者など、それぞれが自身の目標に向けて一歩一歩、歩み続けている最中です。  
社会人としてまだまだ未熟な私たちに、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

